

令和二年

# 能 泉 涌 流 多 喜

第八十五回

令和二年四月十一日(土) 一時始

仕舞 忠 度 高林 呻二

一曲独吟 定 家 高林 白牛口二

春日龍神 高林 昌司

主催 高吟会

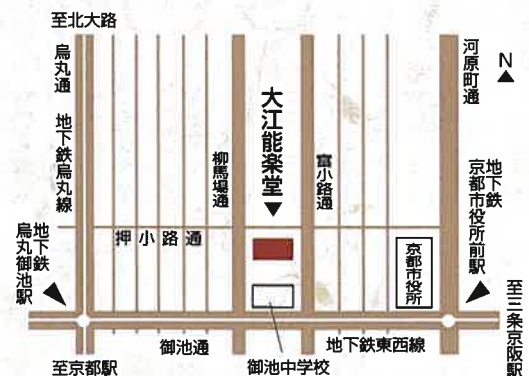
京都府次世代等古典芸能普及促進公演

## 大江能楽堂

京都市中京区押小路通柳馬場東入ル 電話 075-231-7620

入場料 前売 7,000円 学生券 3,000円  
当日 8,000円 全席自由席

問合せ先 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会  
電話075-462-1490 FAX.075-463-3494  
E-mail koginkai@ares.eonet.ne.jp  
URL <http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/>



地下鉄「烏丸御池」または「京都市役所前」下車。徒歩約10分。

動 静 以 天 地  
視 哉 涌 泉 美

鈿 之 翁

涌 泉 能 番 組

仕 舞 忠 度

高 林 呻 二

一 曲 独 吟 定 家

高 林 白 牛 口 二

休 憩 二 十 分

春 日 龍 神

高 林 昌 司

大 坪 賢 明  
江 崎 欽 次 朗  
松 本 義 昭

間

茂 山

茂

谷 口 正 壽  
成 田 達 志  
森 田 保 美  
前 川 光 範

附 祝 言

次 回 予 告

令 和 二 年 六 月 二 十 六 日 ( 金 ) 十 八 時 始  
第 八 回 高 林 白 牛 口 二 の 謡 を 聴 く 会

於 喜 多 能 楽 堂

一 曲 独 吟 老 松

高 林 白 牛 口 二

### 能もワンチームである

高林白牛口二

去年一年を振り返って、国内に大きな感動を与えた出来事の一つに、ラグビーのワールドカップがあります。そしてその時に、日本チームの合い言葉のように云われたワンチームという言葉が広まりました。ラグビーでは一チーム十五名で試合が進められます。その十五名と補欠や裏方を含めて全員が、心一つにして、一つのチームとして、ゲームを運ぶ事が必要なのです。

能では、ラグビーと同様多勢のメンバーが、打ち揃った上で一曲が成立します。最少に数えて、シテ一人、ワキ一人、地謡八人、後見二人、囃子方三人、楽屋働き二人、計十七人の人数が必要です。でも能の場合は、スポーツと違って試合に向かって合宿練習を集中して行い、成果を上げると言うような事は、特別にはしません。

ではどういう風にして、心を統一させるのでしょうか。これは私一人の考え方と思いますが、シテとして、太夫として一番の能を成功させることは、常日頃の信頼関係の構築にあると思います。舞台上での技能は勿論大事な事ですが、それに加えて折に触れてのあらゆる方角からの、信頼関係が必要だと思います。同輩に対しては勿論のこと、それ以上に後輩に対する日常的な心配りが、役や流儀を越えての気遣いが、行き渡っていることが、必要な事です。

私は、特に喜多流の者に留まらず、他の役の者へも他流の者へも隔てなく、養成途上の者に対して極力注意を払うように心掛けています。その心懸けの一つが養成会です。大阪の養成会は勿論のこと、東西合同養成会も、若手能も青年能も、参加する機会のあるものには全て目を見張って、観察することにしていきます。どういう稽古を受けているか、どういう風に進歩してきているかと云うことを、確りと観察し、必要に応じてその者の師匠へ、或いは本人へ直接疑問と感想を述べることにしています。この時に大事な事が一つあります。本人に注意を与えた時は、必ずその者に、師匠に今日は高林さんにごのような注意を受けたと報告するように言葉を添えています。もし私の観察がその役の、或いはその流儀の主張と食い違っている事はないからです。これによって、その師匠に間接的に交流をしている事になると、私は思っています。

この舞台上の全てに気配りをしていることが、自分自身の舞台の時に参加している全ての役の者が、私の舞台を盛り立てる事でお返しをして呉れるのです。私自身が能のシテを勤める事は、今では引退していますが、これまでの私の舞台に現れていた緊張感の下地は、ここにあってと私は信じて居ます。太夫として舞台上に立つためには、自分だけでは成り立たないのです。関連している者が全員一致して、その舞台を作り上げ、成功させる努力を惜しまないことが、絶対条件であると信じています。

八十歳を越えて、例えシテは舞わなくても、今も同じ思いで舞台も楽屋内も、見守っている気概でいます。

### 主 催 高 吟 会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。